

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 13 日

事業名称		母子生活支援施設保護事業費 [母子生活支援施設保護事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 5	母子福祉費	事業番号 4	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	子ども家庭支援センター（子育て支援） 課 総合相談（ひとり親・女性相談） 係			課長名	原 里美			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進					総合計画書 (ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	18歳未満の児童の養育が十分にできない母子家庭の母と子 →			市内在住の母親と子どもの世帯（核家族世帯）				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
母子家庭の母が児童の養育を行い生活できるようになる。 →			施設において自立して生活を送っている又は施設から退所した母子世帯/入所世帯数					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
保護が必要と認められる者を施設に入所させ、入所後は生活相談等支援を行い、自立を促す。 →			対象とした世帯数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	世帯	不明	不明	不明		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 入所した世帯が、支援を受けることで自立した生活を営むことができるようになる。								
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	0	0	0		
		特定財源	円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	831,000	838,000	825,000			
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く							
	事業目的に合致する対象者を把握した場合、母子生活支援施設の利用にかかる支援を行う。 また、継続して母子の自立に向けた支援を行う。							
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く							
	対象者を把握した場合は、適切かつ迅速な支援を行う。							